

1 単元 「分かりやすく紹介しよう 紹介スピーチ」(東京書籍「新しい国語1」)

2 単元観・キャリア観 (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

(1) 教材観

本教材では、身近な大人に尋ねたことを分かりやすく紹介するという学習活動(「話題を設定し、取材する。」「得た情報を整理し、発表する内容を組み立てる。」「分かりやすく発表する。」)を通して、分かりやすく話す方法を学ぶことをねらいとしている。なかでも、「項目ごとに順序立てて話す」と「聞き取りやすい話し方をする」ことに重点を置いて学習する。日常生活や社会生活において、「話すこと」「聞くこと」は、様々な必要に応じて多く行われていることである。国語科だけでなく、他教科の学習や総合的な学習、そして、実生活で生きて働き、将来生かすことができるよう、本教材で「相手の反応を踏まえながら、分かりやすく発表する」ための基礎的な力を養いたい。また、準備・練習を重ね、発表するという課題を解決する過程で「話すこと」の技能を学ぶとともに、それぞれの段階での交流の中で、相互に磨き合い、理解を深め合うコミュニケーションを学んでいけるよう、工夫していきたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、何事にも一所懸命に取り組もうとし、少人数の良さを生かし、互いに意見を交わし合うことも積極的にできる。1学期の「話す・聞く」教材「聞き取って整理しよう」では、「相手の話をしっかりと聞き、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。」ことを目標とした「聞く」学習に取り組んだ。まず、一人ひとりが選んだ話題について発表メモをもとにミニスピーチをした。ここでは、「聞く」学習が主であるため、あまり時間をかけなかったにも拘わらず、簡単なメモをもとに、その場で言葉をつなぎ、短いスピーチではあったが、自分の考えを伝えることができていた。互いに自分の考えとの共通点や相違点に注目し、聞き取りメモを取り、それをもとに、質問し合い、感想をまとめ、みんなに返すことができた。その際、スピーチメモと聞き取りメモを比較し、伝えたいことがどれだけ相手に伝わったかも体感させた。2つのメモの内容がほぼ同じであった生徒どうしは伝わったこと・聞き取れたことを喜び、そうでない生徒は何が足りなかったのか、次はどういう点に気をつけて伝え、聞き取ればよいのか振り返ることもできていた。ここでは、「話す」学習に取り組むが、1学期に学習したことも生かして、話の構成に注意し相手の反応を確かめながら話すことを体得させたい。

(3) 指導観

本学習材のねらいは、「分かりやすく話を組み立てる」と「聞き取りやすく話す」ことである。本学習材では、「クラスの友達に」(相手意識)、「自分たちが生まれる以前に注目されたり話題になったりした事柄を紹介することを通して、その時代の状況や人々の思い、価値観を知らせるため」(目的意識)のスピーチを行う。学習の導入部でしっかり確認することで、目的意識、相手意識を持ったスピーチをめざしたい。取材は家庭学習となるが、自分も友達も興味がわく話題を選び、「身近な大人に尋ねる」ことにより、人との関わりを通じた、生きた学習となるだろう。その後の活動の鍵ともなるため、事前に「目的に即した、また相手に応じた質問になっているか」、互いに検討させたい。本学習材では、「スピーチメモ」を作成して、スピーチを行う。あまりメモを見ずに、聞き手の反応を見ながら話せるようになるまで練習させ、「原稿を『読む』のではなく、『話す』スピーチ」をめざしたい。練習の間にスピーチメモを修正し、言葉がうまく出てこない所や話すべき内容が抜けてしまった所などにメモを書き加え、自分が使いやすいメモとなるよう工夫させたい。話す際には、聞き手の様子を見て、話が

伝わっていないと感じられたなら、繰り返し述べたり分かりやすく言い換えたりすればいいこ

とも学ばせたい。また、「聞いて得た情報を整理して組み立てる段階」「スピーチメモを作る段階」「練習の段階」それぞれの段階で、互いに考えた内容を伝え合い、質問や助言などの意見の交流をすることでよりよいスピーチをめざしたい。発表時にも、良かった点を中心に感想を述べ合うことによって、互いの考えをより深めさせ、「伝え合う力」を養っていききたい。

3 単元の指導目標

○ 教科の指導目標

- ・伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ・分かりやすく話を組み立て、相手の反応を踏まえながら話すことができる。A(1)イ
- ・声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、聞き取りやすい話し方をすることができる。A(1)ウ
- ・反復などの表現の技法を理解し、必要に応じて用いることができる。伝国(1)イ(オ)

○ 言語活動例A(2)ア

- ・日常生活の中的话题について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。

○ キャリア教育視点でのつきたい力

- ・相手が分かりやすいように話を組み立て、聞き取りやすいように工夫するとともに、ポイントを意識してスピーチメモをもとにスピーチすることができる。【人間形成・社会形成】
- ・よりよいスピーチにしようと、友達のアドバイスを参考にして改善を図ったりしている。【課題対応】

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとしている。	○伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えている。 【A(1)イ】 ◎話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告している。【A(1)ウ】	○必要に応じて反復などの表現を用いて重要な点を強調し、報告している。 【伝国(1)イ(オ)】

5 指導と評価の計画（全6時間）

時	主な学習活動	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く 能力	言語についての知識・理解・技能
1	・「はじめの一步」に取り組み、聞き取りやすい話し方について考えさせる。 ・「紹介スピーチの発表例」を読み、スピーチのイメージをつかむ。 ・スピーチの話題と取材する相手を決め、質問を準備し、相互にアドバイスし合う。	・学習活動の見通しを持ち、昔の事柄について分かりやすく紹介する学習に意欲を示している。 (観察)	・一文を短くするなどの確に修正したうえで、声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、工夫して話している。 【A(1)ウ】 (観察)	
2・3	・スピーチを分かりやすく組み立て、スピーチメモを作成し、相互にアドバイスし合う。		・聞いて得た情報を整理し、伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えて、スピーチメモを作成している。 【A(1)イ】 (観察・ワークシート)	
4・5	・スピーチのための準備と練習をし、相互にアドバイスし合う。		・相手の反応を踏まえながらスピーチできるように、スピーチメモに状況に応じて活用できる情報を追記したり、言い換えられる言葉について考えたりしている。 【A(1)イ】 (観察・ワークシート)	・必要に応じて繰り返し述べたり言い換えたりしている。 【伝国(1)イ(オ)】 (観察)
6本時	・スピーチの発表をし、相互評価するとともに、学習を振り返る。	・伝えたいことが相手によく分かる話し方について考え、工夫してスピーチしようとしていたり、熱心に聞き取るうとしていたりしている。 (観察)	・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意してスピーチしている。【A(1)ウ】 (発表・観察・ワークシート)	・必要に応じて反復などの表現を用いて重要な点を強調し、スピーチしている。 【伝国(1)イ(オ)】 (観察)

6 本時の指導 (6 / 6)

(1) 目標・評価規準・評価方法

本時の目標	○声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、聞き取りやすい話し方をする ことができる。A (1) ウ ○反復などの表現の技法を理解し、必要に応じて用いることができる。 伝国 (1) イ (オ) ☆相手が分かりやすいように話を組み立て、聞き取りやすいように工夫するとともに、ポイントを意識してスピーチメモをもとにスピーチすることができる。 【人間形成・社会形成】
本時の 評価規準	・伝えたいことが相手によく分かる話し方について考え、工夫してスピーチしようとした り、熱心に聞き取ろうとしたりしている。 ・話す態度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場 に応じた言葉遣いに注意してスピーチしている。 ・必要に応じて反復などの表現を用いて重要な点を強調し、スピーチしている。
評価方法	発表・観察・ワークシート

(2) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○・・・教科等の留意事項 ☆・・・キャリア教育視点での留意事項	評価規準・(評価方法)
導 入	1. 本時の目標を知り、学習の 流れをつかむ。	☆相手が聞き取りやすいように、ポイン トを意識しながらスピーチするこ とを確認させる。	
	目標 伝えたいことが相手によく分かるように工夫してスピーチしよう。		
	2. 前時までの練習での注意 点や友達にアドバイスしても らったことを確認する。	○教科書P 1 2 0「言葉の力 聞き取り やすく話す」を再確認する。 ○教科書P 5 6「聞き取って整理し よう」の学習を想起させる。	
展 開	3. スピーチを発表し、相互評 価する。 ・評価項目について理解する。 ・スピーチメモをもとに、発表 する。	☆相手が聞き取りやすいように、ポイン トを意識しながらスピーチさせる。 ○聞き手の反応を確認するために、あま りメモを見ず、なるべく聞き手を見な がら、自分の言葉で話させる。 ○評価表に記入後、感想や意見を述べ合 うことを事前に伝え、「伝えたいこと が伝わったか」という観点から、友達 の良かった点や友達の発表から気づ いた点を書ける・言えるように、聞き 手は集中して聞くようにさせる。	・伝えたいことが相手によく 分かる話し方について考 え、工夫してスピーチし ようとしたり、熱心に聞き取 ろうとしたりしている。 (観察) ・話す速度や音量、言葉の調 子や間の取り方、相手に分 かりやすい語句の選択、相 手や場に応じた言葉遣い に注意してスピーチして いる。【A (1) ウ】 (発表・観察・ワークシート)

